

あと一步にゲームを使う

上町台地には直下型の大地震が来ると言われています。とんでもない規模の被害が出るという計算結果も公表されました。ただ、多くの住民は、防災・減災が必要だとは思いつつ、何をしたらよいのかと戸惑うばかりかも知れません。ところが、上町台地は幸いです。街の生活を愛している人が多くに思えます。街の歴史や文化に関心をもつ人が多くいらっしゃいます。そして、街をおもしろがっている元気な人もたくさんいらっしゃいます。地域への愛着、地域資源、そして、リーダーが確保されているのですから、街ぐるみの防災・減災へはもうあと一步です。この一步はあまり深刻に考えると出てこないかもしれません。むしろ、楽しんで参加できる場がまず必要だと思います。今回展示されているゲームはそんな場を作り、盛り上げてくれるツールとして開発されました。是非、ご近所ですべてみてください。ゲームに参加して楽しかった人達は、きっと、職場で、飲み屋で、街角で、知り合いに話して下さると思います。そうすれば、ゲームの中身、つまり防災・減災が少しずつ広がると思います。防災・減災も上町台地らしく展開できればと願っております。

渥美公秀 (大阪大学コミュニケーションデザイン・センター准教授、上町台地からまちを考える会理事)

謝辞

この展示は、上町台地境界での減災ゲーム体験ワークショップにご協力くださったみなさま、上町台地の災害特性や、減災・防災ゲームに関する貴重な資料・情報をご提供くださったみなさまほか、多くのご支援によって実現しているものです。心からお礼申し上げます。

協力(取材・資料提供等): 上町台地からまちを考える会、大阪滅天守閣、應典院、からほり倶楽部、(株)コリア NGO センター、サロンdeありす/(株)和文文化伝承協会、NEXT21入居者自治会、(有)富士原文信堂、船木伸江さん、(株)プラス・アーツ、まちコミュニケーション、矢守亮也さん、そのほかのみなさま(50音順)

U-CoRo 独案内 (ゆーこーろ・ひとりあんない) vol.06

NEXT21/U-CoRo ウィンドウ・エキジビション 06
「減災ゲームで気づく 上町台地の暮らしいろいろ」(2008.9.16~2009.1.23)
大阪市天王寺区清水谷町 6-16 NEXT21 1階北U-CoRo

発行日 2008年9月16日
企画 U-CoRoプロジェクト・ワーキング
編集 橋本 暎/早川厚志/弘本由香里 デザイン 小倉昌美/北浦千尋
発行 大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所(CEL)
大阪市中央区早野町4-1-2
印刷 (株)国際印刷出版研究所

この冊子、企画内容に関するお問合せ先 TEL:06-6205-3518(担当:CEL弘本)
※NEXT21の3階以上は非プロアとなっており、立ち入りはご遠慮ください。

表紙画像: 上町台地立体イメージ図
独案内(ひとりあんない)=まちや物事に不案内な人を助ける携帯便利な冊子のこと
この冊子は環境に優しい再生紙を使用しています

ゆーこーろ・ひとりあんない

U-CoRo 独案内

vol.06



NEXT21/U-CoRoウィンドウ・エキジビション 06

減災ゲームで気づく 上町台地の暮らしいろいろ

2008.9.16 Tue—2009.1.23 Fri



上町台地境界の3会場で減災ゲーム「クロスロード」体験

ごあいさつ

もしも上町断層が動いたら…。想像するのは容易ではありません。けれど、ひとつの入り口があります。一枚のカードから、そこに身をおいてみることのできるゲームです。上町台地ならではの、お寺が並ぶあのまちで、多文化が息づくあのまちで、長屋が残るあのまちで、新しいマンションで、時を重ねたコミュニティで…。浮かび上がるさまざまな声。減災・防災への想像力は、台地とともにまちに生き会う発見への入り口でもあるようです。

近未来の住まいと暮らしを探求する大阪ガス実験集合住宅NEXT21では、昨春からまちと暮らしをつなぐささやかな試みを始めています。1階に設けた「U-CoRo (ゆーころ)」のガラス・ウォールをインターフェイスに、上町台地のまつりや子どもと遊び、いのちをまもる智慧、緑と鳥や地域の伝統野菜をテーマにウィンドウ・ディスプレイを展開してまいりました。第6弾となる今回の展示では「減災ゲームで気づく 上町台地の暮らしいろいろ」をテーマに、ゲームの紹介やドキュメントとあわせ台地の地形図や模型もご覧いただけます。台地の姿と暮らしのつぶやきにふれていただくことが、いのちをまもる智慧を育む出会いにつながっていくことを願っています。

主催：大阪ガス エネルギー・文化研究所 (CEL)
共催：大阪大学コミュニケーションデザイン・センター
企画：U-CoRo プロジェクト・ワーキング

地域防災関連ほかの情報を提供するホームページ

- 大阪市危機管理室 (大阪市内に対する緊急情報の発信窓口)
<http://www.city.osaka.jp/kikikanrishitsu/index.html>
防災サイト (「日頃の備え」「風水害に備えて」「地震に備えて」)
<http://www.city.osaka.jp/kikikanrishitsu/bousai/index.html>
避難所など“あなたの地域の防災マップ” (防災活動拠点情報)
<http://www.city.osaka.jp/kikikanrishitsu/bousai/jishin/map/index.html>
“水害に備えて” 防災マップ (洪水想定区域等防災用図、大和川氾濫、内水氾濫、津波)
http://www.city.osaka.jp/kikikanrishitsu/bousai/fusuigai/tsunami_suigai_map/index.html
災害想定 (震度分布、浸水想定、上町断層系、全動断層系、有馬高橋構造線、中央構造線、南海トラフ)
<http://www.city.osaka.jp/kikikanrishitsu/bousai/jishin/soutel/index.html>
- 防災・救急「いざというときには」(119番通報の利用方法、救急医療サービス)
<http://www.city.osaka.jp/emergency/disasters/index.html>
- 大阪市建設局降雨情報 (市域と近郊特異の降雨状況、注意警報等発生状況)
<http://www.city.osaka.jp/ame/>
- 大阪府危機管理室 (国の防災、防災、原子力防災、テロ対策)
<http://www.pref.osaka.jp/kikikanri/index.html>
大阪府地震被害想定調査 (震度分布、上町断層系、全動断層系、有馬高橋構造線、中央構造線、南海トラフ)
<http://www.pref.osaka.jp/kikikanri/crisis/plan/research/soutel.html>
- おおさか防災ネット (都内の警報・注意情報発生状況、被災状況、緊急情報、避難施設・指定避難所状況)
<http://www.cds.osaka-bousai.net/pref/index.html>
- 国土交通省 防災情報提供センター (雨量・雨量の動向、全国の浸水想定区域等ハザードマップ)
<http://www.bousaijoho.go.jp/>
- 気象庁防災気象情報 (天気予報、アメダス速報、気象警報速報、気象警報・注意報、台風情報、地震情報)
<http://www.jma.go.jp/jp/warn/index.html>
- 内閣府防災情報ページ (国の防災行政や各府県庁対策、災害復旧・復興に関する支援制度)
<http://www.bousai.go.jp/index.html>
- 内閣府災害被害を軽減する国民運動のページ (防災・減災への取り組み、防災対応カードゲーム紹介)
<http://www.bousai.go.jp/km/index.html>

ゲームで学ぶ 減災・防災



矢守克也
(京都大学防災研究所巨大災害研究センター准教授)

減災・防災は、自然対人間の対決だと思っていませんか？ もちろん、そのような一面もあります。でも、気象予報の仕組みの整備、堤防の建設や建物の耐震化など、災害に対する備えがある程度できた社会では、減災・防災は、むしろ、人と人との関係づくりと深く関わってきます。たとえば、ふだんのお付き合いのあり方が、いざというとき、瓦礫の下からの救援活動に大きく影響したという話を、よく耳にします。お年寄りや障害をもった方などに対する災害時の支援をどうするのかについて、地元の自治体と地域の人びとの意見が大きく食い違っているようでは、災害時が思いやられます。それに、うちの街では、減災・防災より防犯や環境問題などの方がもっと切実、という意見もあるかもしれません。これらのことは全部、人と人との関わり方の問題です。減災・防災と「ゲーム」が結びつく理由は、この点にあります。「ゲーム」を通じて、また、「ゲーム」をきっかけにして、減災・防災のことを、ふだんからみんなで考えてみませんか。

※「クロスロード」は、文部科学省の「大都市大震災軽減化特別プロジェクト」の一環として開発されたもので、2004年7月に最初の「神戸編・一般編」が完成。その後、「市民編」のほか、いくつかの別バージョンがつくられています。
制作・著作：Team Crossroad (橋代剛、吉川肇子、矢守克也：50音順)

「神戸編・一般編」と「市民編」は、京都大学生協ブックセンターで購入できます。
TEL.075-771-7336 <http://www.s-coop.net/rune/bousai/>

上町台地界隈5カ所で「クロスロード」を実施

減災ゲーム「クロスロード」(CROSSROAD)ってなに？

「クロスロード」は、災害時の対応をシミュレーションするカードゲーム。

災害への備えは、まず災害を想像することから始まります。災害が起きたとき、自分や家族がどのような状況に置かれ、どんな決断をすることになるでしょうか…。

多数派が得点！



「クロスロード 神戸編・一般編」の設問は、阪神・淡路大震災で対応にあたった神戸市職員の体験がもと。たとえば、「あなたは行政の担当者。人数分が用意できない緊急食料を、それでも配る？」など、どれも難しい判断を迫る問題ばかり。多くの人なら(自分なら)どう決断する？ うーん、決められない、でもどちらかのカードを出します。

では、
選ぶのは
どっち？



減災ゲームや教材には、「クロスロード」のほかに「ぼうさいダック」「ぐらぐらタウン」「大ナマジン」「防災紙芝居・みんなのおかたぼうさいマン」「防災(あすが)カルタ」などさまざまなツールがあります。

Crossroadは分岐点

ゲームは簡単。数人一组で、災害時に会おうシミュレーションの設問に、YESかNOで答えます。その際、YES・NOどちらが多数派になるかを予測してカードを出すのが基本ルール[※]。

※自分の意見を示すルールのときもありません。多数派に得点の青い座布団がもらえます。ただし、全員同意のときは、みんなが無得点。さらに、ただ1人の少数意見だった場合は、その人だけが得点し、金座布団が手に入ります。

得点すれば
座布団ゲット！



このゲーム、やってみると、けっこう盛り上がります。なぜ大多数が(自分が)そうすると考えたのかを互いに説明しているうちに、自然と議論が深まっていきます。どの問題にも正しい答えはありません。自分とは異なる価値観があることにも気づかれます。

大阪市に想定される 地震の被害

※発生確率は今後30年以内に地震が起きる
予測値(平成19年1月1日現在)



上町断層帯地震

マグニチュード/7.5~7.8
発生確率/2~2%



生物断層帯地震

マグニチュード/7.3~7.7
発生確率/0~0.1%



中央構造線断層帯地震

マグニチュード/7.7~8.1
発生確率/0~5%



東南海・南海地震

マグニチュード/7.9~8.6
発生確率/50~70%



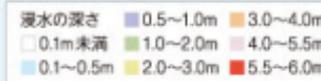
生物断層帯地震は生物山山西側を走る新層帯での地震、中央構造線断層帯地震は和歌山県との県境に横たわる和泉山脈南側の新層帯での地震、東南海・南海地震は紀伊半島・四国沖でのプレート型地震をそれぞれ想定しています。上町断層帯地震では台地西側直下が震源となるため、台地上も赤色やオレンジ色の部分が多くなっています。

ハザード・マップをよく見ると、台地上でもいくつかの色の違いが見られます。その背景には緩土や平坦化地など人為的な土地改変の歴史も含まれます。

上町台地の風土特性と災害リスクを知る

地震被害・水害被害の資料図出版：
大阪市危機管理室ホームページ <http://www.city.osaka.jp/kikikanrishitsu/>

大阪市で 想定される水害



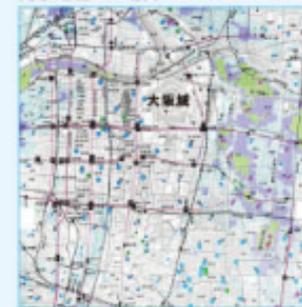
淀川が氾濫した場合



大和川・東淀川が氾濫した場合



内水氾濫した場合



淀川と大和川の氾濫を想定した地図では、ともに真ん中に大きな白抜き部分がありますが、そこが上町台地です。また台地周辺の白抜き部分は自然堤防などの防高地です。
水に浸かると想定されている地域でも水位の深淺が見られますが、その要因の一つに緩かな地形の違いや旧河床など土地の成り立ちが挙げられます。
また、台地は水害に強いと思われがちですが、内水氾濫の想定図をよく見ると台地上にも浸水予想像所があることが見て取れます。

